



子どもが心を開いて、自分自身で問題を乗り越えていけるように「気持ちを聞く」ことが大切と講演する白石先生

ゲームやクイズで英語に楽しむ!

財団法人成田国際空港振興協会主催による英語教育支援事業の国際交流会が1月25日、神崎小学校多目的ホールで開催され、同校6年生が授業を受けました。

当日の講師は、教育経験豊富な外国人講師5名。「カントリーロード」を英語で合唱後、みんなで自己紹介。その後、3グループに分かれて、英語版フルーツバスケットを行い、また、絵カードをみて「What's this?」「It's～」をリズムに乗って発音し、ブラックボックスの中に入っているものを英語で当てるクイズ等が行われました。

「外国の方と話すのは初めての体験でしたが、笑顔絶やさずとても楽しかったです。」と感想を述べ、楽しい一時を過ごしました。

気持ちをくむことで子どもは動く!

親業訓練協会シニアインストラクター白石仁美先生を講師に迎えた教育講演会が1月23日、神崎ふれあいプラザ視聴覚室で開催され、「心の通い合う親子のコミュニケーション」と題して講演いただきました。

先生は、子どもの目線で物事を考え「共感」すること、子どもの話に沈黙やあいづちをする受動的な聞き方や子どもの言葉を繰り返す能動的な聞き方が重要であり、この二つの聞き方が一緒になってこそ効果的であると話されました。

講演会の中では、参加者が一本橋やくらやみのワークに取り組み、事例を通じて心と体でたのしく学ぶことができ、有意義な講演会になりました。



ジェスチャーを交えフルーツバスケットを行う講師と児童たち



キャスター・アナウンサー・カメラマン等の役割に分かれてニュースを放送しました

神崎小でTBS 出前授業

1月26日、神崎小・米沢小学校5年生の児童が神崎小学校多目的ホールでTBS 出前授業を受けました。

TBSの方々に先生に招いて、ニュース番組「朝ズバッ！」が放送されるまでの仕組みをVTRで学習しました。当日の朝放送された「8時またぎ」のコーナーで使用したボードを使って、児童が司会のみのもんたさんと同じように紙めくりを体験しました。

その後、グループに分かれ複数のニュースを編集し、編集方針を発表。番組制作には大勢のスタッフが関わっていることや正確に報道することの大切さを学びました。

最後に3グループの児童たちがニュース番組作りを体験しました。児童からは、「緊張しましたがとても楽しかったです。」という感想が聞かれ、貴重な体験となりました。

ニュースの編集方針を発表する児童

